

全教広島  
第64回  
中央委員会

## このままでは学校がもたない！

～父母・市民と一緒に運動をすすめてみましょう～

全教広島は1日（日）、第64回中央委員会を開催し、定期大会（5月）以後の運動を総括し新しい運動方針を確認しました。福山支部から、以下のみなさんにお世話になりました。

- ◎【中央委員】平井さん（坪生小分会）、北川さん（新涯小分会）
- ◎【専門部】小林さん（向丘中分会=養護教員部長） ◎【オブザーバー】福岡さん（特別執行委員）
- ◎【執行部】小林さん（委員長）、船石さん（副委員長）

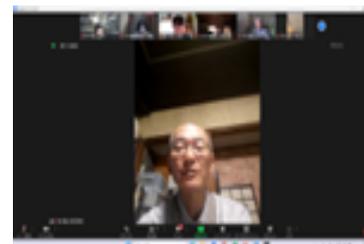
**平井さん**は、先生が次々と休みに入る実態に触れながら「すでに教育は破綻している」と、現場のリアルを報告しました。子どもたちと楽しく授業をしたいという願いを実現するために、困難な中でも具体的な業務改善（あゆみや要録の所見簡素化、行事の見直しなど）を提案し続けています。にもかかわらず、こうした声をまったく聞かずに「付ける人がいない」と言う市教委の姿勢を、「全然本気度が感じられない。行政の怠慢としか思えない」と厳しく批判しました。



**小林さん**は、依然として厳しい養護教諭の勤務実態を報告しました。本人の了解なしでの修学旅行の引率、本務ではない給食の準備など1人に対応するには限界あるとして、「複数配置」を強く求めました。養護教諭にも再任用短時間勤務を実現し定数外で配置することを求めています。 「短時間勤務2人で1人分」という動きもあり注視する必要があるとして、「学習を大切に運動を進めていきたい」と締めくくりました。



**船石さん**は、前日に福山で開かれた「高校入試を考える学習会」を報告しました。高校生も参加し、主に自己表現検査がどう行われたのかについて「何をしてもいいと言われても困る。9月から準備した。検査官からの質問は全員に対して同じ内容だった」などの声に「きわめて不透明な制度で、何がしたいのか分からない」と指摘しました。全教広島の方針を確認するとともに「こうした学習会で出る声をもとに、よりよい制度にしていくための提言をしていきたい」とまとめました。



執行部からのまとめの発言で神部書記長は、「学校はすでに限界にありこのままでは学校がもたないところまで来ています。これを学校だけの問題にせず父母・市民と一緒にたたかきましょう」とまとめました。

### 「教育全国署名」「長時間勤務歯止め署名」をすすめてみましょう

- \* 返信用封筒（切手不要）をお届けします（前回、入れてなくてすみませんでした）。
- \* 職場やお知り合いに広く呼びかけてください。最低でもご自身とご家族分の署名をお願いします（子どもさんも署名可です）。

# 広島県公立高校入試「改革」初年度はこう実施された！



【保護者（お母さん）】



【高校生】



【船石委員長】

子どもと教育を守る福山市民の会は9月30日（土）、標記の市民学習交流集会を開催しました。当日は、今春、新しい高校入試制度の下で初めての受験を経験した高校1年生3人とその保護者の方が参加され、現場（中学・高校）ではどんなことがおこっていたのか、子どもたちや親は新制度をどう感じていたのか、今後どんな制度を希望するか、などが豊かに交流されました。

初めに船石さん（全教福山委員長）から、今春の入試がどう変わったのか（その成果と課題）、県教委はどう総括しているか、全教広島はどう提言しているかなどを説明してもらいました。その後、高校生から、主に「自己表現検査」とは何だったのかを中心に報告してもらい、交流しました。

- ◎ 自己表現検査の準備は夏休み明けから取り組み、かなりの時間をかけた。
- ◎ 何のために、なぜこの検査が導入されるのかといった説明は全くなかった。
- ◎ 検査会場への出入りやあいさつの仕方など、細かく練習したのに全然意味がなかった。
- ◎ 検査官からの質問は受験生全員に対して同じ内容（「もう少し詳しく説明してください」）だった。すべて言い切ったあとなので、もう語ることはなく困った。
- ◎ 調査書から削除された諸活動（生徒会活動等）については、自己表現でアピールした。
- ◎ 自己表現検査の評価基準が不明で、結果が合否にどう影響したのかも全然わからない。
- ◎ 広島県の学力検査の内容は確かに難しいと思う。授業だけでは対応できないものもあった。
- ◎ 調査書の学力評価割合（1年：2年：3年＝1：1：3）は、1年生から努力をつづけてきた人にとってはどうなのか？という気持ちがある。
- ◎ 親からみて、自己表現検査の変なプレッシャーに悩んだ。新制度にはいい面もあるが、まだ15歳の子どもたちに礼儀とかを厳しく求めているようで複雑な思いがあった。
- ◎ 高校生活については、授業が充実していて、コロナ禍が落ち着いて行事も復活して楽しく過ごしている。

ご参加のみなさんからは、「“自己を認識し人生を選択する力”という“上から目線”の課題設定自体が間違っている。しかもそれは高校で学ぶことではないのか？ 高校はもっと自由に学べる場であってほしい。自己表現で差をつけるなどあってはならない。特別支援学級の子どもたちへの配慮はあるのか？」…などの声が出されました。

東京からオンラインで参加された小野先生（東京家政学院大学、元福山市立大）は、「入試の厳格化とともに、高校入試の“入社試験化”が進む危険性がある」と指摘されました。

集会は最後に、これからも子どもたちの声を聴きながら、よりよい制度に変えていく努力をつづけることを確認しました。



# このままでは学校がもたない！ 「子どもたちの成長や発達が保障され、せんせいがいきいきと働くことができる学校をつくるために」

全教は7日（土）、標記の集会を東京で開催し約250人が参加しました。全教広島からも2人が参加しました。

主催者あいさつで**全教の宮下直樹委員長**は、「子どもの思いに寄り添うには、長時間勤務の抑制が必要です。残業代を支払う仕組みこそ実効性ある手だてです。声を上げ、私たちの求める制度を実現しましょう」と訴えました。

『教員の長時間勤務に歯止めをかけ、豊かな学校教育を実現するための署名』呼びかけ人の**中嶋哲彦愛知工業大学教授**

が講演し、公立学校教員の残業代不支給を定める給与特別措置法（給特法）を抜本的に改める必要性を強調。「時間外勤務に対する正当な報酬の支払いと、勤務時間制限のメカニズムを組み込んだ勤務時間管理制度の確立が必要です」と語りました。さらに「不満があれば自分たちの力でたたかって変えていくことが大切です！」と強調しました。

行動提起で**全教の檀原毅也書記長**は、給特法改正が政治日程に上りつつあるとし、「全国でシンポジウムや学習会を開きましょう。教育委員会や議員要請に力をいれ、署名50万人の目標を達成しましょう」と呼びかけました。

集会後、全国からの参加者は「このままでは学校がもたない！教育予算を増やして先生増やそう」とアピールするパレードを行い、「教員の長時間勤務に歯止めを」と書かれた横断幕や「学校にもっとゆとりが必要」など黄色のプラカードを掲げ、「先生足りない、全然足りない」「授業をつくる時間がほしい」とリズムカルにコールする声が東京・銀座に響き渡りました。買い物客や観光客らが手を振ったり、スマホで動画を撮るなど大きな注目を集めました。

集会には、福山支部からも小林副委員長がオンラインで参加しました。



不登校児童生徒  
29万9048人

## 先生の働き方との密接な関係を問いたい…

### 30万人に迫る不登校の子どもたち

10月5日付けの新聞各紙は、2022年度の全国の小中学校で30日以上欠席した、いわゆる不登校児童生徒が29万9048人であることを報道しました。この数は前年度より5万4108人（22.1%）増え、過去最多となっています。まさに異常とも言える数字です。文科省はその原因として新型コロナウイルス禍による生活リズムの乱れや交友関係が築きにくいことなどをあげていますが、不登校はすでに2015年から急増していて、コロナ禍を主因とするには無理があります。

### 学校教育のあり方、それを支える先生の働き方との密接な関係

激増する不登校や問題行動、いじめなどの問題を、「子どもの問題」ととらえるだけでは解決は困難です。主体性を奪われ「やらされる教育」が広がる中で、先生（教育）の自由も奪われていることを、この数字からあらためて問い直し、施策の大転換を求めていきたいと思えます。

みんながワクワクするような学校と子どもたちの未来のために、私たちの働き方（ホントは“働かされ方”ですが）を変えなくてはなりません！



# 賃金・労働条件改善要求 団体署名

同封の封筒で  
返信ください

今年も確定期のたたかいはじまります(県教委交渉は、第一次 11/9、最終 11/30)。

今年は団体署名に取り組みますので、全分会から寄せていただきますようによろしくお願ひします。

## 尾道・福山教育のつどい 2023

- ◆ 日 時：11月3日(金・祝) 13:30~15:30 福山市川口交流館にて
- ◆ テーマ：特別支援学級の授業実践~小中学校ではどのような授業・学級づくり?~
- ◆ レポーター：三島恵子さん(小学校) / 白石 愛さん(中学校)

詳細は別紙にて同封しています

“学習は力”です。しんどい時だからこそ、仲間とともに学び合いましょー!

## 教育のつどいヒロシマ 2023

【11月18日(土)】

10:00~12:30	13:30~16:00	17:30~19:30
問題別分科会	教科別分科会	記念講演
広島市・尾長小学校		広島ロードビル・大会議室 & オンライン

### 記念講演

【演題】子どもたちとともにヒロシマの教室から紡ぎだす平和と民主主義

講師：平井 美津子さん(大阪・公立中学校教諭)

## 当面の予定

### 10月

- 13(金) 全教広島、教研合同会議(18:30 東区民文化センター)
- 14(土) **全教広島女性部、憲法学習会(13:00 ロードビル&オンライン)**
- 16(月) クレスコを読む会(19:00 オンライン)
- 17(火) 福山地区労会議幹事会(18:30 川口東交流館)
- 19(木) 全教広島執行委員会(19:00 オンライン)
- 23(月) 全教広島、共済担当者会議(19:00 オンライン)
- 27(金) 全教福山執行委員会(19:00 書記局)
- 31(火) 子どもと教育を守る福山市民の会事務局会議(19:00 書記局)

### 11月

- 2(木) 県労連幹事会(18:00 オンライン)
- 3(金) **尾道・福山教育のつどい2023(13:30 川口交流館)**
- 7(火) 県労連、自治体キャラバン(9:00~ 福山市、府中市、神石高原町)
- 8(水) 福山「教育」を読む会(18:00 書記局)
- 9(木) 全教広島、確定第一次県教委交渉(15:15 県庁東館602)
- 11(土) **ゆきとどいた教育をすすめる福山街頭署名宣伝(11:30 福山駅前)**  
ゆきとどいた教育をすすめる(14:00 東区民文化センター)
- 18(土) **教育のつどいヒロシマ2023(広島市立尾長小学校、ロードビル&オンライン)**



新聞各紙でも取り上げられ  
話題になっています!

**緊急出版 『私たちの広島サミット~被爆地から核廃絶を訴える』**

全教福山に30冊届いています。購入ご希望の方はご連絡ください(1500円)。